

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 2 月 4 日 (2021.2.4)

【公表番号】特表 2020-502304 (P2020-502304A)
 【公表日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-003
 【出願番号】特願 2019-527183 (P2019-527183)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)
 C 0 1 B 39/48 (2006.01)
 C 0 8 L 101/14 (2006.01)
 C 0 8 L 1/00 (2006.01)
 C 0 8 K 3/34 (2006.01)
 C 0 8 K 3/36 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00
 C 0 1 B 39/48
 C 0 8 L 101/14
 C 0 8 L 1/00
 C 0 8 K 3/34
 C 0 8 K 3/36

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 12 月 17 日 (2020.12.17)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 7
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 7】

前記酸処理された骨格型 MWW を有するチタン含有ゼオライト材料を (i i . 2) による前記水性懸濁液の前記液相から分離することが、前記酸処理された骨格型 MWW を有するチタン含有ゼオライト材料を、好ましくは 1 0 0 ~ 2 5 0 の範囲の、好ましくは 1 1 0 ~ 2 0 0 の範囲の、より好ましくは 1 2 0 ~ 1 6 0 の範囲のガス雰囲気中の温度のガス雰囲気中で、乾燥することを含み、さらに、前記乾燥した酸処理された骨格型 MWW を有するチタン含有ゼオライト材料をか焼すること、好ましくは前記乾燥した酸処理された骨格型 MWW を有するチタン含有ゼオライト材料を 4 0 0 ~ 8 0 0 の範囲の、より好ましくは 5 0 0 ~ 7 5 0 の範囲の、より好ましくは 6 0 0 ~ 7 0 0 の範囲のガス雰囲気中の温度のガス雰囲気中でか焼することを含む、請求項 2 から 6 のいずれか一項に記載の使用方法。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】請求項 8
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 8】

前記プロセスが、
 (i i i) (i i) による前記酸処理された骨格型 MWW を有するチタン含有ゼオライト材料に亜鉛を組み込む工程をさらに含み、

(i i i) において、前記亜鉛の組み込みが、好ましくは、

(i i i . 1) 水及び溶解した亜鉛塩を含む水性液相、並びに、前記酸処理された骨格型 M W W を有するチタン含有ゼオライト材料を含む水性懸濁液を製造することと；

(i i i . 2) (i i i . 1) による前記水性懸濁液を加熱することと；

(i i i . 3) 前記酸処理された骨格型 M W W を有し、かつ亜鉛を含むチタン含有ゼオライト材料を (i i i . 2) による前記水性懸濁液の前記液相から分離することとを含み；

(i i i . 1) による前記水性懸濁液において、元素亜鉛として計算された前記溶解した亜鉛塩の、前記酸処理された骨格型 M W W を有するチタン含有ゼオライト材料に対する質量比が、 $0.01:1 \sim 0.2:1$ の範囲、好ましくは $0.02:1 \sim 0.1:1$ の範囲、より好ましくは $0.04:1 \sim 0.06:1$ の範囲にあり；

(i i i . 2) において、(i i i . 1) による前記水性懸濁液を、 $65 \sim 135$ の範囲の、好ましくは $75 \sim 125$ の範囲の、より好ましくは $85 \sim 115$ の範囲の前記懸濁液の温度に加熱し；

前記酸処理された骨格型 M W W を有し、かつ亜鉛を含むチタン含有ゼオライト材料を (i i i . 2) による前記水性懸濁液の前記液相から分離することが、前記酸処理された骨格型 M W W を有し、かつ亜鉛を含むチタン含有ゼオライト材料を、好ましくは $100 \sim 300$ の範囲の、好ましくは $150 \sim 275$ の範囲の、より好ましくは $200 \sim 250$

の範囲の前記ガス雰囲気の温度でのガス雰囲気中で、乾燥することを含み、さらに、前記酸処理された骨格型 M W W を有し、かつ亜鉛を含むチタン含有ゼオライト材料をか焼すること、好ましくは前記乾燥した酸処理された骨格型 M W W を有し、且つ亜鉛を含むチタン含有ゼオライト材料を、好ましくは $500 \sim 725$ の範囲の、より好ましくは $600 \sim 700$ の範囲の、より好ましくは $625 \sim 657$ の範囲のガス雰囲気の温度のガス雰囲気中でか焼することを含む、請求項 2 から 7 のいずれか一項に記載の使用方法。